

高校生・受験生の皆様に

(<http://tuat-chemphys.net/>)

2022 年度 東京農工大学 工学部 化学物理工学科 主催 8 月の実験教室

高校生のための化学と物理の実験教室

日時：2022 年 8 月 1 日(月) 13:00-17:00

場所：東京農工大学工学部（小金井キャンパス）

自分の手を動かしながら、物理や化学が身近な現象や先端技術とどのように関わっているかを学べます！
SAIL 入試（総合型選抜）の題材にも利用できます。希望者にはレポート作成指導も行います。

ご参加を希望する方は 3 ページの QR コードの

Google フォームにてお申し込みください

2022 年 7 月 1 日（金）から（詳細は別頁）

*SAIL 入試の受験を予定、もしくは、検討している受験生の方は、必ずその旨を記載してください。

対象： 大学受験を考えている高校 3 年生・予備校生のみ
高校生のみ



開催情報は化学物理工学科オリジナルホームページ(<http://tuat-chemphys.net/>)にも掲載します。新型コロナウイルスの感染状況によっては中止、もしくは、プログラムの一部を変更する可能性があります。上記ホームページや大学ホームページ(<https://www.tuat.ac.jp/department/engineering/chemphys/>)等でお知らせします。

化学物理工学科ホームページ QR コード

12:45-13:00	受付
13:00-13:15	化学物理工学科（教育、研究、入試）の紹介
13:30-16:00	実験
16:00-17:00	レポート作成指導（希望者のみ）

次ページの中の 1 テーマについて、教員や大学生・大学院生の指導のもと実験が行えます。
募集定員：テーマにより 2～7 名ずつ

応募テーマは第 4 希望までお書きください。希望が多いテーマは抽選となります。
もし申し込み後にキャンセルされる場合は、できるだけ早めにご修正かご連絡をお願いいたします。
定員埋まり次第、申し込みを締め切ります。

実験番号	タイトル	講師
実験 1	美肌効果あり♪化粧品の結晶を作ろう	滝山 博志
実験 2	直流モーターをつくる	室尾和之
実験 3	光を使って金属表面の分子の動きを見てみよう	清水 大雅
実験 4	重力加速度を測定しよう	箕田 弘喜
実験 5	化学電池を作りながら、究極の電池を科学する	大橋 秀伯
実験 6	磁石&超伝導体の不思議を探る	香取 浩子
実験 7	マイクロ液滴を作る、ひずませる、観察する	稲澤 晋
実験 8	液体の沸騰を観察し、蒸気圧曲線を調べる	森下 義隆
実験 9	不思議な液体ーイオン液体	銭 衛華
実験 10	光や色のスペクトルを測定しよう	嘉治 寿彦

- 交通 JR 中央線 東小金井駅 nonowa 口より徒歩 8 分
- 会場 東京農工大学 小金井キャンパス ガイダンス：1 3 号館 1 3 3 1 教室(⑩の建物の3階)
実験室： 4 号館オープンラボや各研究室など



参加申込用 Google フォームの QR コード

【申込方法】 参加の申込は上記 QR コードの Google フォームからお願いします。

申し込まれた方には、自動返信メールが届きます。届かない場合は、ご入力をご確認ください。後日、受領のメールもしくはファックスをお送りいたします。申込に際しては以下のことをお教えてください（頂いた個人情報は学科広報活動以外には使用いたしません）。

- ① 氏名（ふりがなもつけてください）
- ② 学校名と学年
- ③ 連絡先電話番号またはメールアドレス（メールアドレスを持っていない場合は連絡が取れる学校の先生のメールアドレスを記載いただいても結構です）
- ④ 実験教室で希望する研究室（第 1、第 2、第 3、第 4 希望を書いてください）
- ⑤ SAIL 入試の受験を予定、もしくは、検討している方は、必ずその旨を記載してください。

*実験室の面積を考慮し 1 テーマあたりの参加人数を決め、新型コロナウイルスへの感染対策を取った上で開催します。

*当日は気温が高くなることも予想されます。十分な暑さ対策をとってご来場ください。

*応募人数によっては、希望以外の実験テーマになることやお断りすることもあります。ご了承ください。

不明な点がございましたら、下記連絡先の電子メールまたは FAX でお願い致します。

連絡先：東京農工大学 工学部 化学物理工学科 事務室

TEL：042-388-7071（直通） FAX：042-388-7693 電子メール：cmci@cc.tuat.ac.jp

化学物理工学科（2019 年度開設の新学科）の紹介

化学と物理をベースに持続可能な社会を実現する技術者の養成

【教育目標】 エネルギー・環境等の地球規模の課題を解決し、新産業を創出する課題解決力を身につけるには、化学と物理の総合的理解が必要です。本学科では、総合的理解が必要な課題、例えば「新素材を用いた高効率・低環境負荷のエネルギー変換デバイスの開発」など、社会的ニーズが高い課題に挑戦する高度グローバルエンジニアを育成します。

【学科の特徴】 1 年次には数学、化学、物理などの基礎科目を中心に学びます。2 年次後期からは「化学工学」と「物理工学」の 2 コースに分かれ、専門科目を学びアイデンティティを確立します。「エネルギー」「新素材」「環境」の 3 つの科目群が用意され、プロジェクト演習、研究室配属により課題解決力を身につけダイバシティを養います。